



11月6日に、坡州市役所で行われた「国際親善都市調印式」で署名する朝長市長(左)と柳(右)坡州市長(右)

坡州市との提携理由

- 坡州市は本市と距離が近く、市民主体の交流が今後期待できる
- 坡州市はソウル特別市の近郊に位置し、人口の増加が見込まれ、本市への観光客の集客が期待できる
- 坡州市では大学の誘致が進められており、本市の大学との学術交流が期待できる
- 坡州市は自然環境に配慮したまちづくり(農業、観光、未来都市)を推進しており、行政職員から市民までの交流が期待できる など

国際親善都市から始める交流

「国際親善都市って姉妹都市と同じもの? それとも違うもの?」と疑問に思う人も多いのではないだろうか。姉妹都市とは、市民主体の交流や教育・経済交流などの実績を考慮した上で、親善や文化交流などを目的に特別な友好関係を提携している都市のことをいいます。一方、国際親善都市とは、交流実績がない都市間が姉妹都市のように市民主体の交流へ発展することを目的に提携するもので、今回本市と坡州市の間で新しく定めたものです。

今後は国際親善都市提携を活用して、本市から坡州市に文化・教育・経済などさまざまな分野での交流を要請するなど、行政主体の交流から始め、次第に市民主体の交流へ拡大し、坡州市との姉妹都市提携へと発展することを期待しています。

市民の皆さんには、幅広い分野で積極的に坡州市との交流に取り組んでいただきたいと思います。

坡州市はこんなまち

市制施行以前の坡州市は、軍事境界線(朝鮮戦争の停戦ライン)に接していることもあり、開発が遅れている地

特集 海を越えて広がる交流



韓国・坡州市の市街地



坡州市の概要

- 韓国最北端の都市。ソウル特別市の北約35kmに位置(車で約1時間)し、新潟県と同じ緯度。
- 人口約32万人、面積 682.6km²(佐世保市 364km²)
- 市制施行 1996年

Paju City

四番目の海外交流都市の誕生

皆さんは、本市が三つの海外都市(一つの国内町と、姉妹都市・友好都市(以下「姉妹都市」。注1参照)提携をしていることをご存知ですか?

昭和41年に米国・アルバカーキ市、昭和58年に中国・廈門市、昭和63年に豪州・コフスハーバー市、平成3年に大分県九重町と姉妹都市提携をしています(本紙4、5ページ参照)。ことしは、廈門市と友好都市提携25周年、コフスハーバー市とは姉妹都市提携20周年の記念の年で、8月に市長を団長とした市民訪問団52人がコフスハーバー市を親善訪問し友好を深めました。

本市では姉妹都市提携を生かした青少年交流事業やホームステイなど市民

同士の交流を支援し、市民の皆さんに国際社会・異文化への理解を深めていただきたいと思います。

近年、韓国や台湾、中国など東アジア地域からの観光客や留学生などが増えてきており、東アジア地域への理解も必要となってきています。さらに本市の外国人登録者の割合も東アジア地域出身者が全体の7割を超え、この地域への理解を深める機会の充実が本市の課題となっていました。そのような時に、韓国・坡州市から昨年10月に交流の申し入れがあり、ことし7月に交流意向確認の締結を経て、11月6日に「国際親善都市」の提携を行いました。

本市と海外交流する都市は坡州市で四つ目となり、アジア地域では廈門市に続き二例目となります。

「初めまして! 佐世保市民の皆さん」 柳坡州市長からのメッセージ



ことし7月に佐世保市を訪問し、西海国立公園九十九島の美しい自然景観やハウステンボスの施設などを視察して、佐世保市が国際観光都市として飛躍している姿を感じ取りました。

坡州市は北朝鮮と隣接している都市、佐世保市は自衛隊や米海軍基地がある都市という互いに軍事的な要衝という共通点がありますが、わたしが一番印象深く感じた共通点は、佐世保市の「市民第一主義」という市政方針です。坡州市も「市民主義」を第一に行政を推進しています。

今後、市政方針を共にする佐世保市と坡州市が、文化・教育・行政・経済などさまざまな分野で交流・協力を進めていくことによって、まちの活性化に寄与し、国際都市として共同発展できると強く感じています。

佐世保市と坡州市の友好が深まって、姉妹都市へと発展していくことを心から祈念いたします。

域でした。

2000年の南北首脳会談で南北交流が宣言されてからは米軍基地の返還が進み、自然環境に優しいまちづくりを基本に、基地の跡地を宅地や公園、大学の誘致に活用し、さらに工業団地の整備にも力を入れ、目覚しく発展している平和な都市となりました。

現在の坡州市は、ソウル特別市にも近くヘッドタウン化していることや、液晶ディスプレイを生産する大手企業の進出などもあり人口増加は著しく、2012年には50万人規模の都市になる

と予想されています。

韓国の最北端に位置することで、朝鮮戦争休戦協定が結ばれた「板門店」や朝鮮戦争の遺構などが見学できる「臨津閣」、北朝鮮を望む「統一展望台」、北朝鮮が韓国へ兵士を送り込むために掘った「第3地下トンネル」などが主な観光施設として知られ、毎年国内外から多くの観光客が訪れています。

このように坡州市は国土分断の悲しみを実感できるまちであるとともに、韓国を代表する先進的なまちでもあります。

注1:「姉妹都市」は米国の「Sister City」を直訳したもので、中国など提携先の国によっては姉妹都市という表現がなく、中国の場合は「友好都市」を用いる(意味は姉妹都市と同じ)。本市は姉妹都市のほかに「米国・サンディエゴ港」と昭和57年に姉妹港提携をしている。